

# 定期予防接種の種類と対象者

予防接種の情報は、令和6年2月末の情報です。制度が変更になったときには、「広報おおだて」や「市ホームページ」等でお知らせします。

種類	対象者（大館市に住民登録しているかた）		接種の仕方
【五種混合】 ジフテリア 百日せき 破傷風 不活化ポリオ ヒブ	1期 初回	生後2か月～90か月に至るまで （標準として生後2～12か月）	20日以上の間隔で3回接種 （標準として20～56日の間隔）
	1期 追加	生後90か月に至るまで	1期初回終了後、6か月以上において1回接種 （標準として12～18か月において）
令和6年4月1日から、これまでの【四種混合】と【ヒブ】がひとつになった【五種混合】が新たに定期接種に導入されます。すでに、四種混合とヒブを開始しているかたは、引き続きそれぞれのワクチンで接種を完了してください。			
【四種混合】 ジフテリア 百日せき 破傷風 不活化ポリオ	1期 初回	生後2か月～90か月に至るまで （標準として生後2～12か月）	20日以上の間隔で3回接種 （標準として20～56日の間隔）
	1期 追加	生後90か月に至るまで	1期初回終了後、6か月以上において1回接種 （標準として12～18か月において）
ヒブ	生後2か月～60か月に至るまで （標準として生後2～7か月に至るまでに接種開始）		19ページ参照 （接種開始月齢等で接種回数が異なります）
小児用 肺炎球菌	生後2か月～60か月に至るまで （標準として生後2～7か月に至るまでに接種開始）		
B型肝炎	1歳に至るまで （標準として生後2～9か月に至るまで）		27日以上の間隔で2回接種、更に1回目の接種から139日以上の間隔において1回接種
	※母子感染予防のために抗HBs人免疫グロブリンと併用してB型肝炎ワクチンの接種を受ける場合は健康保険が適用されるため、定期接種の対象外となります。		
ロタウイルス 感染症	【ロタリックス(1価)】 出生6週0日後～24週0日後まで （標準として初回接種は、生後2か月～出生14週6日後まで）		27日以上の間隔で2回接種（経口接種）
	【ロタテック(5価)】 出生6週0日後～32週0日後まで （標準として初回接種は、生後2か月～出生14週6日後まで）		27日以上の間隔で3回接種（経口接種）
	※ロタリックス又はロタテックのどちらかのワクチンを選択し、2回目以降も同じワクチンを接種します。 ※初回接種を出生15週0日後以降に受けることはお勧めしていません。		
BCG	1歳に至るまで（標準として生後5～8か月）		1回接種
	※4か月児健診と同時に接種を希望するかたは、健診を受診する小児科へ予約時にご相談ください。		
麻しん風しん (MR)	1期	生後12か月～24か月に至るまで	1回接種
	2期	5歳～7歳未満で小学校入学前1年間 (H30年4月2日～H31年4月1日生まれ)	1回接種 (R6年4月1日～R7年3月31日までの間)
※1期は1歳になったら早めに接種しましょう。2期は4～6月の早い時期に接種しましょう。			
水痘 (水ぼうそう)	生後12か月～36か月に至るまで （標準として生後12～15か月）		3か月以上の間隔において2回接種 （標準として6～12か月において）
	※すでに水痘にかかったことのあるかたは定期接種の対象になりません。		
日本脳炎	1期 初回	生後6か月～90か月に至るまで （標準として3歳児）	6日以上の間隔で2回接種 （標準として6～28日の間隔）
	1期 追加	生後90か月に至るまで （標準として4歳児）	1期初回終了後、6か月以上において1回接種 （標準としておおむね1年において）
	2期	9歳～13歳未満 （標準として9歳児）	1期追加接種から4～5年後に1回接種
	※平成19年4月1日までに生まれた20歳未満のかたは、1期・2期の計4回の接種が終わっていない場合、残りの回数を定期接種として実施できます。		
ジフテリア 破傷風 (二種混合)	11歳～13歳未満		1回接種
	※小学6年生全員に学校から、「予防接種のお知らせ」及び「予診票(問診票)」が配付されます。ただし、既に、対象年齢(11歳～13歳未満)内に接種したかたは、必要ありません。		

令和6年度 予防接種